

社会保障給付費の推移

(兆円)

100

90

80

70

60

50

40

30

20

10

0

80
(万円)

70

60

50

40

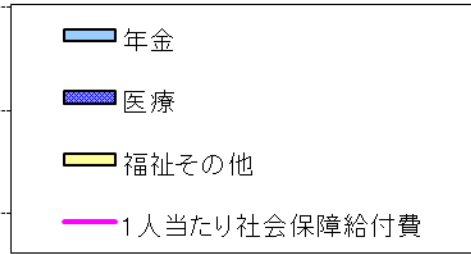
30

20

10

0

	1970	1980	1990	2000	2009(予算ベース)
国民所得額(兆円) A	61.0	203.2	348.3	371.6	367.7
給付費総額(兆円) B	3.5(100.0%)	24.8(100.0%)	47.2(100.0%)	78.1(100.0%)	98.7(100.0%)
(内訳) 年金	0.9(24.3%)	10.5(42.2%)	24.0(50.9%)	41.2(52.7%)	51.5(52.2%)
医療	2.1(58.9%)	10.7(43.3%)	18.4(38.9%)	26.0(33.3%)	31.0(31.4%)
福祉その他	0.6(16.8%)	3.6(14.5%)	4.8(10.2%)	10.9(14.0%)	16.2(16.4%)
B/A	5.77%	12.19%	13.56%	21.02%	26.84%



一人当たり社会保障給付費(右目盛)

1950 (昭和25) 1960 (昭和35) 1970 (昭和45) 1980 (昭和55) 1990 (平成2) 2000 (平成12) 2007 (平成19) 2009 (予算ベース)

資料: 国立社会保障・人口問題研究所「平成19年度社会保障給付費」、2009年度(予算ベース)は厚生労働省推計

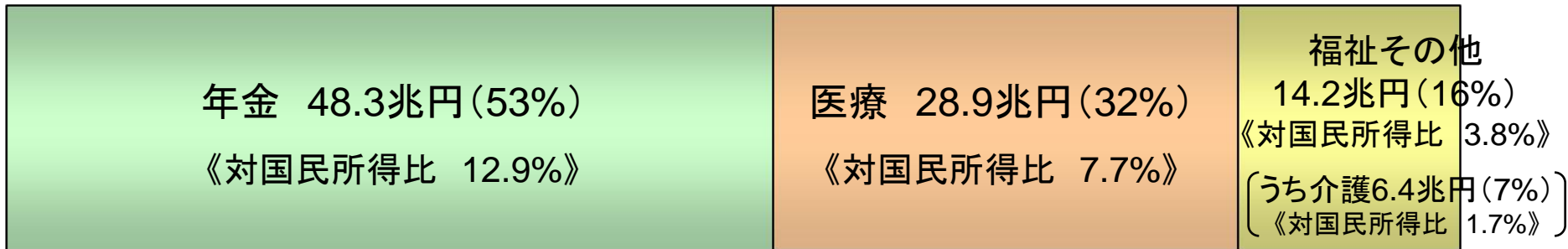
(注) 図中の数値は、1950,1960,1970,1980,1990,2000及び2007並びに2009年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

(参考) 一人当たり社会保障給付費は、2007年度で71.6万円、2009年度(予算ベース)で77.5万円である。

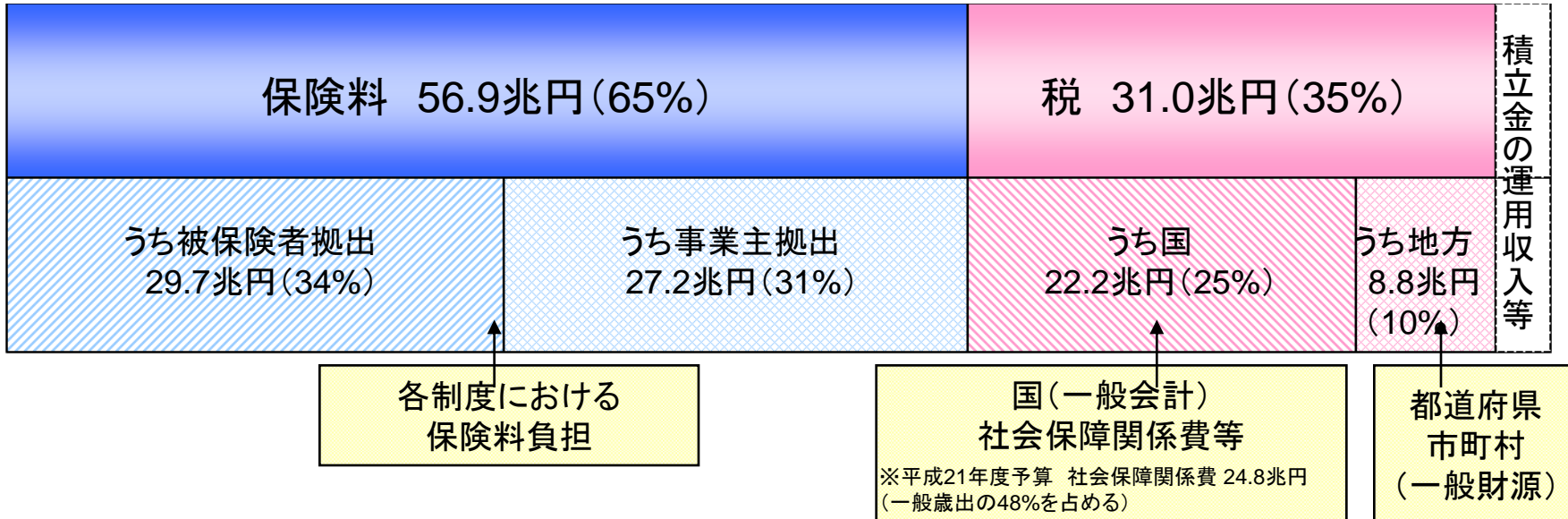
社会保障の給付と負担の現状

社会保障給付費 平成19年度(実績) 91.4兆円 (対国民所得比 24.4%)

【給付】



【負担】



資料：国立社会保障・人口問題研究所「平成19年度社会保障給付費」

※ 社会保障給付の財源としてはこの他に資産収入などがある

社会保障の給付と負担の現状

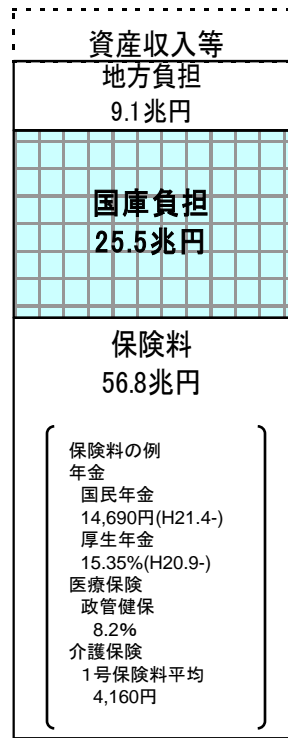
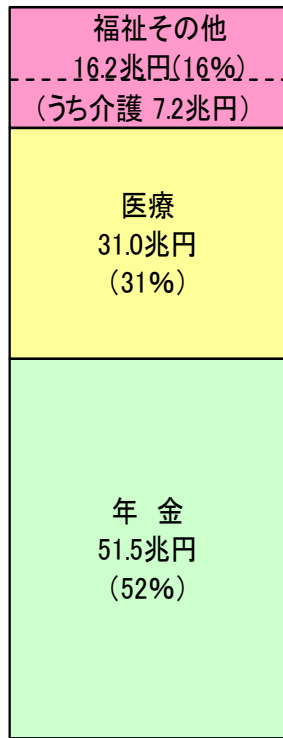
- 社会保障給付費は約99兆円(年金が約5割、医療が約3割)
- この給付(99兆円)を保険料(約6割)と公費(国・地方)(約3割)などの組合せにより賄う
- 社会保障に対する国庫負担は25兆円を超え、一般歳出の48%を占めている

社会保障給付費(平成21年度予算ベース)

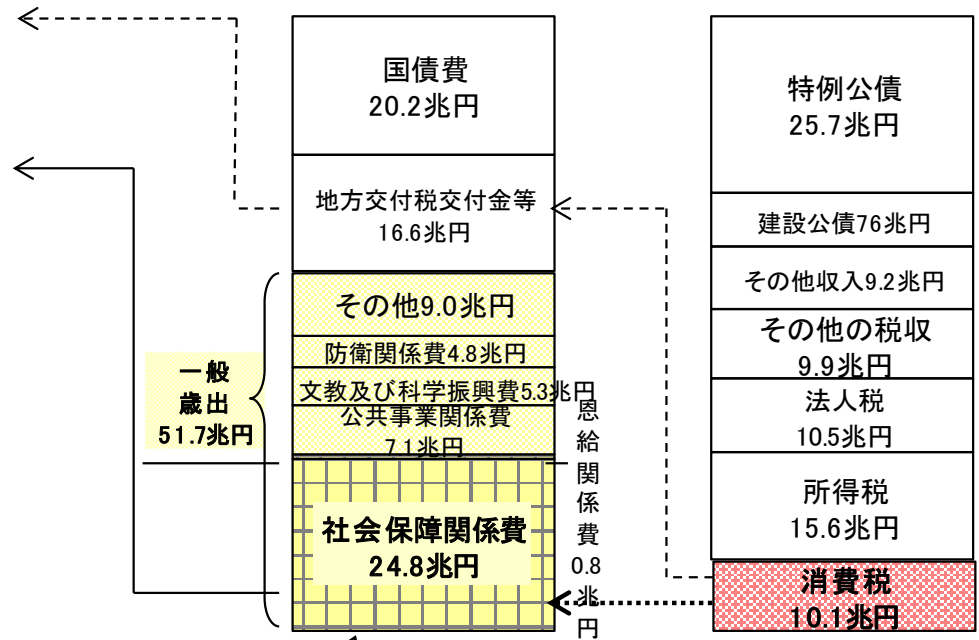
給付費 98.7兆円 財源 91.4兆円+資産収入

国 一般会計(平成21年度予算)

歳出 88.5兆円 歳入 88.5兆円



保険料の例
年金
国民年金
14,690円(H21.4-)
厚生年金
15.35%(H20.9-)
医療保険
政管健保
8.2%
介護保険
1号保険料平均
4,160円



直近の実績値(平成19年度)
・ 社会保障給付費 91.4兆円(NI比24.4%)
・ 財源構成 保険料 56.9兆円、公費31.0兆円
(ほか資産収入など)

一般会計歳出の28.0%
一般歳出の48.0%